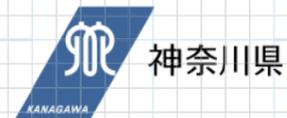


## 開 CHO構想推進事業所一覧 (平成30年2月20日時点 登録事業所数149)

※公開を希望する事業所のみ掲載しています。

株式会社ファーストステージ、社会福祉法人三浦市社会福祉協議会、学校法人横浜YMCA、公益財団法人横浜YMCA、社会福祉法人横浜YMCA福祉会、株式会社メディセオ(相模原ビル、厚木支店、小田原支店、平塚支店)、株式会社T&S、株式会社分析屋、アップコン株式会社、田中水力株式会社、株式会社アイネット・データサービス、向洋電機土木株式会社、富士火災海上保険株式会社(横浜営業支店、相模原支店、横浜中央支店)、日本調剤株式会社(横浜支店、元住吉駅前薬局、武蔵中原薬局、登戸薬局、新川崎調剤薬局、川崎調剤薬局、武蔵小杉薬局、川崎東薬局、川崎中央薬局、溝口薬局、小杉町薬局、川崎駅前薬局、宮崎台薬局、こすぎ薬局、相武台前薬局、南林間駅前薬局、中央林間薬局、津久井薬局、さがみ野調剤薬局、相模原薬局、秦野薬局、北里薬局、深見薬局、相模大野薬局、麻溝薬局、新相模原薬局、たまプラーザ薬局、ながつた薬局、みなみ台薬局、ふれあいの丘薬局、藤が丘薬局、新ふれあいの丘薬局、センター南薬局、青葉台薬局、中山駅前薬局、あざみ野薬局、下田町薬局、鶴見駅前薬局、新横浜薬局、慶應日吉薬局、港北薬局、東中町薬局、横浜本町薬局、大倉山薬局、さしね薬局、綱島西薬局、油壺薬局、横須賀薬局、追浜薬局、緑が丘薬局、新横須賀薬局、米が浜薬局、平成薬局、三笠通り薬局、六浦薬局、上永谷駅前薬局、二俣川薬局、根岸薬局、金沢文庫薬局、星川薬局、浦舟薬局、上大岡薬局、上大岡駅前薬局、泉山手台薬局、中尾薬局、瀬谷三ツ境薬局、鶴屋町薬局、新子安薬局、野毛薬局、関内駅前薬局、石川町薬局、ランドマーク薬局、大口薬局、元町薬局、MMパーク薬局、東神奈川薬局、元久保薬局、新大船薬局、大正薬局、東戸塚調剤薬局、戸塚薬局、南戸塚薬局、湘南茅ヶ崎薬局、藤沢薬局、戸塚原宿薬局、辻堂薬局、大船薬局、藤沢駅前薬局)、神奈川県内広域水道企業団(三ツ境本庁舎、西長沢浄水場、相模原浄水場、伊勢原浄水場、綾瀬浄水場、飯泉取水管理事務所、社家取水管理事務所、広域水質管理センター)、公益財団法人かながわトラストみどり財団、山岸株式会社、神奈川県道路公社、株式会社TSK、株式会社川崎保険センター、有限会社神越自動車工業、株式会社TAMAKI、横浜信用金庫、かながわ信用金庫、株式会社NEXT、富士ゼロックス神奈川株式会社、REBUILD、アドヴァンスドファーマ&テクノロジー株式会社、PIECE、株式会社TOWA、AIG損害保険株式会社(横浜プロチャネル営業部、厚木支店、横浜営業支店、藤沢支店、相模原支店、横浜中央支店)、大塚製薬株式会社横浜支店、社会福祉法人兼愛会特別養護老人ホームしょうじゅの里三保、田中商店、前田建設工業株式会社横浜営業所、株式会社湘南インシュアランス、有限会社グリーントラスト、株式会社水栄、社会福祉法人小桜会、富士和電子株式会社、株式会社コア・エレクトロニクスシステム



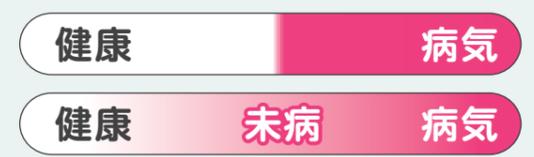
# CHO構想事例集

健康経営をスタートするための  
神奈川県の支援策と、健康経営に取り組む県内の  
事業所をご紹介します！



### マイME-BYOカルテで「未病」を改善！

「未病」とは、心身の状態を健康と病気の間で常に連続的に変化するものとして捉えるものです。



マイME-BYOカルテは、健康情報を「見える化」することで、「未病の改善」に役立ちます。

体重・歩数などの日々の健康記録や、お薬情報、母子健康手帳、健康診断結果などを一覧で管理できます。あなたの大事な健康情報を記録しておけば、どこでもいつでも確認できますので、災害時など、いざというときも安心です。



あなたの健康に役立つ  
県などからの情報も  
スマホにお届け！

上記のQRコードまたは検索で県ホームページからマイME-BYOカルテの利用登録をいただき、ご利用ください。スマートフォンアプリは、iOS版はApp Store、Android版はGoogle Playで「まいみびょうかるて」と検索の上、無料でダウンロードできます。  
上記の利用登録がお済みの方は、改めての登録は不要で、登録済のメールアドレスでログインすることで、スマートフォンアプリもご利用いただけます。

お問い合わせ先 神奈川県政策局ヘルスケア・ニューフロンティア推進本部室ヘルスケアICTグループ  
☎電話 045-285-0196(直通) ✉E-mail hcnf-ict@pref.kanagawa.jp

平成30年2月

# CHO構想について



CHO構想とは、企業や団体が事業所に健康管理最高責任者(CHO)を設置し、従業員やその家族の健康づくりを行う、いわゆる健康経営を進める取り組みです。

県は平成26年に「CHO構想推進コンソーシアム」を設立し、企業に実際に健康経営に取り組んでいただきその効果を検証する事業や、県の健康管理アプリ「マイME-BYOカルテ」(※本事例集の裏表紙参照)を活用した健康経営を支援する事業などを行い、CHO構想の普及を図ってまいりました。

その中で、健康経営については、取り組みたいと思っはいても、「ノウハウもなく何から始めればいいのか分からない」、「お金や人手もかけられない」と言った理由から、なかなか取り組みを始められないという声を伺っています。そこで、県では、健康経営をこれから始めようとする企業や団体に向けて、さまざまな施策を全て無料で提供し、CHO構想の実践を支援しています。

平成26年10月14日  
CHO構想推進コンソーシアム  
キックオフ会議



# 企業対抗ウォーキング

県の健康管理アプリ「マイME-BYOカルテ」をインストールしたスマホを持って歩くだけで参加でき、従業員の健康づくりに無料で気軽に取り組みます。

参加企業ごとの平均歩数ランキングを毎週県のホームページで公表し、ランキング上位企業には、県から表彰状を贈呈します。

平成29年度は60事業所が参加しました。

順位	企業・団体名	歩数
1	山崎製パン株式会社	174
2	日本製粉株式会社	98
3	富士通株式会社神奈川支社	91
4	株式会社伊藤園	73
5	三浦株式会社	44
6	株式会社ジャパコ	39
7	株式会社日本製粉	29
8	株式会社上野電子	25
9	株式会社日本製粉	23
10	株式会社フジ	22

**実施期間** 平成29年9月1日～平成30年1月31日

**参加条件** 企業・団体の従業員とその御家族

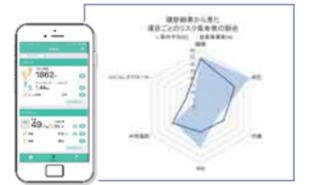
平成29年度の実施状況は下記QRコードまたは検索で県ホームページをご覧ください。  
平成30年度の実施については、詳細が決まりましたら県ホームページでご案内します。

# CHO構想推進事業所の登録制度

CHOを設置して健康経営に取り組む企業や団体の県内の事業所を、「CHO構想推進事業所」として登録しています。通年募集しており、簡単な手続きで登録できます。(同一企業であっても事業所単位での登録もできます) 平成30年2月20日時点で149事業所が登録しています。

## メリット 1 健康経営のツールを提供します

県の健康管理アプリ「マイME-BYOカルテ」に従業員が健診結果を入力するだけで、県が事業所の健康課題を分析して、全県の状況とも比較できるように分かりやすくグラフ化して結果をお返しますので、従業員の健康課題の把握にご活用いただけます。



## メリット 2 毎年のPDCAで無理なく効果的な「健康づくり」を実践できます

CHO構想推進事業所の登録を通じたPDCAサイクル



## メリット 3 事業所のイメージアップにつながる登録証やステッカーを提供します

登録した事業所には、県から登録証、ステッカーなどを配布し、県ホームページ等で事業所名や健康づくりの取組状況を紹介するなど、事業所の対外的なイメージアップを県が後押しします。



<登録証>



<ステッカー>



<イメージロゴ>

登録方法などの詳細は右記QRコードまたは検索で県ホームページをご覧ください。

# CHO構想推進事業所の中から、健康づくりの取組 事例をご紹介します。

事例  
1

事業所名 **AIG損害保険株式会社**

〒 横浜市港北区新横浜2-4-19

## CHO構想推進事業所へ応募した理由について

夜遅くまでのデスクワークが中心で、更に飲み会が多く、健康的な生活を送れない社員が多かったこともあり、「安心を届ける保険という商品を扱う仕事である以上、自分たちがまずは健康でなければ!？」と考え、まずは取り組んでみよう!という機運が高まったため。

## 今年度を実施している従業員の健康づくりの主な取組内容と、現在の取組状況、今後の展開

社員一人一人が「何ができるか?」を会議や朝礼を通じて考える機会を持ったり、神奈川県からの情報を共有して色々な事にみんなでチャレンジする環境を作った。

- 「マイME-BYOカルテ」を全社員が導入して健康への意識を高める
- 全社員に健康診断の受診を義務付け、産業医のアドバイスにより、食生活の改善などを実施
- 朝礼前にストレッチし、頭と体を切り替えるとともに、早帰りを推進し、朝型生活に切り替える
- 県主催のウォーキングキャンペーンや、健保組合主催のライフスタイルアップキャンペーンに参加
- 運動を奨励し、フットサルやマラソン、スキー等の交流やゴルフコンペを開催

これらを通じて社員一人一人の健康状態の改善はもちろん、社員間のコミュニケーションも良くなり、社内がとても明るくなった。



朝礼前のストレッチ



ゴルフコンペ

## CHO構想推進事業所への応募を検討している企業への一言

「健康経営」に何から取り組めばいいかわからない企業様も多いと思います。まずは神奈川県の取り組みに参加して従業員の健康から会社をもっと元気にしていきましょう!

事例  
2

事業所名 **かながわ信用金庫**

〒 横須賀市小川町7番地

## CHO構想推進事業所へ応募した理由について

健康経営の制度化、見える化を進めるため。

## 今年度を実施している従業員の健康づくりの主な取組内容と、現在の取組状況、今後の展開

産業医による衛生教育・健康増進対策の実施や、婦人科健診受診の推進、ストレスチェックをしている。今後は、「マイME-BYOカルテ」の活用促進、歩行習慣による健康増進の案内を予定。

## CHO構想推進事業所への応募を検討している企業への一言

企業は、「働く職員が健康であってこそその企業」であるということ、その価値観を全職員とともに共有していきませんか。

事例  
3

事業所名 **株式会社T&S**

〒 横浜市港南区上大岡西1-13-15-4F

## CHO構想推進事業所へ応募した理由について

従業員の健康の促進と、保険代理店の使命としてお客様に健康について考えていただくため。

## 今年度を実施している従業員の健康づくりの主な取組内容と、現在の取組状況、今後の展開

月に一度の全体会議の前にラジオ体操を実施。その後の会議にて、全社員で健康企業としての取組や実施内容について話し合い、課題を全員で共有し取り組む。ウォーキングアプリを導入し、歩数などを共有。よこはま企業健康マガジンの回覧、情報の共有。各種健康セミナーの開催や参加。今後も引き続き、全社員で情報の共有や会議で課題を見つけ出し、実行する。



ラジオ体操



健康セミナー

## CHO構想推進事業所への応募を検討している企業への一言

心身ともに健康な社員がいる会社には人は集まると考えています。健康のキーワードでネットワークを組むのも楽しいと思います。

事例  
4

事業所名 **株式会社分析屋**

〒 藤沢市藤沢484番地1 藤沢アンバービル4階

## CHO構想推進事業所へ応募した理由について

従業員の健康は、組織力を高め、顧客への質の高いサービスを持続可能にするものであると考えており、神奈川県から健康増進に向けた支援を頂けるため。

## 今年度を実施している従業員の健康づくりの主な取組内容と、現在の取組状況、今後の展開

- 毎週、健康に関する社内報を配信し、健康意識の向上を目的に、健康に役立つ情報(睡眠、眼精疲労など)やおすすめレシピ、社員への健康についてのインタビューなどを掲載。
- 社員のアイデアによる健康イベントとして、ビーチヨガ、ホットヨガ、ボルダリング、おせち作り、巨大迷路探索、登山、ラジオ体操などを実施。
- 職場環境アンケート調査を通して、メンタルヘルスケアの実践と、問題の早期発見に努めている。

取り組みを通じて、社員の健康経営への理解や健康意識が高まり、健康イベントへの参加者は前年度に比べて大幅に増加。

今後は、健康にあまり関心のない社員も参加しやすい健康イベント企画や、社内での実証実験などを通じ、より効果的な施策を実施していく予定。



ビーチヨガ



ボルダリング

## CHO構想推進事業所への応募を検討している企業への一言

CHO構想推進事業所に登録することで、「マイME-BYOカルテ」の導入支援や、事業所の健康課題の分析などのサービス利用が可能になります。ぜひ、ご検討ください。

事例  
5

事業所名 **社会福祉法人三浦市社会福祉協議会** 三浦市南下浦町菊名1258-3

**CHO構想推進事業所へ応募した理由について**

当会の職員に対して、メンタル不調や腰痛などが発生し、健康経営の取り組みが必要となったため。また、その取り組みを地域全体に広げていくことが、三浦市の健康寿命の増進につながるため。

**今年度を実施している従業員の健康づくりの主な取組内容と、現在の取組状況、今後の展開**

今年度は、メンタルヘルス、メタボ対策を中心に、三浦市内における健康戦隊「ミウレンジャー」による健康啓発、市内健康イベントへの参加（ソフトボール大会、駅伝大会、清掃ボランティア）、「マイME-BYOカルテ」の普及やウォーキングイベントの参加などに積極的に取り組んでいる。  
また、三浦市内にCHO構想の浸透を更に深めるため、「三浦市社協未病センター」を開設するなどして、地域包括ケアシステムの互助の強化に努めている。  
今後は、神奈川県内の福祉関連事業所に対して、CHO構想の取組みを勧めて、社会問題にもなっている離職の防止につなげていきたいと考えている。



ソフトボール大会



健康戦隊「ミウレンジャー」

**CHO構想推進事業所への応募を検討している企業への一言**

特に、導入に関して難しいことはなく、費用も最低限で始めることができるので、是非一步を踏み出して欲しいと思います。自身だけでなく家族のためにもなる大切なツールです。

事例  
6

事業所名 **株式会社メディセオ 相模原ビル** 座間市相模が丘2-1-38

**CHO構想推進事業所へ応募した理由について**

会社全体で健康経営への取り組みを積極的に行っています。神奈川県内の未病の取り組みやCHO構想に参加することにより、従業員の意識向上、活動の充実を継続させるため。

**今年度を実施している従業員の健康づくりの主な取組内容と、現在の取組状況、今後の展開**

- 健康への意識向上を目的として、日本健康マスター検定取得を促進し、2017年3回の検定で17名が合格した。喫煙・飲酒・体重等の関心が確実に高まっているので今後も取得への啓蒙をする。
- マインドフルネス研修の実施を全従業員対象に1日3回の時間帯を設けて行い、講師が神奈川の支店を回り、「心を整える」ことを健康へのひとつの手段としている。



マインドフルネス研修

**CHO構想推進事業所への応募を検討している企業への一言**

従業員の健康はどの企業も願っているものです。ただこの活動を根付かすことは容易なことではありません。神奈川県内の企業の取り組みを知ることで多くのヒントが得られるのではないのでしょうか。

事例  
7

事業所名 **山岸株式会社** 小田原市鬼柳203-18

**CHO構想推進事業所へ応募した理由について**

平成29年6月に協会けんぽより「健康優良企業」認定証を受け、社内健康経営研修会を2回実施したところ、盛況であったため。

**今年度を実施している従業員の健康づくりの主な取組内容と、現在の取組状況、今後の展開**

全社員が集合する「経営計画発表会」にて、健康経営の重要性・必要性を訴え、動機づけを継続的に実施中。引き続き、課題である「生活習慣病、喫煙対策」に焦点を絞り、実施する。

**CHO構想推進事業所への応募を検討している企業への一言**

まずは、スローガンとして目標を打ち出し、スタートを切ることだと思います。効果が出るまで焦らず、粘り強く進めることが大切です。

事例  
8

事業所名 **公益財団法人横浜YMCA** 横浜市中区常盤町1-7

**CHO構想推進事業所へ応募した理由について**

当初より「CHO構想推進コンソーシアム」に参画し、情報を得ており、平成29年度に職員の健康づくりを目指して行くことになったため参画した。

**今年度を実施している従業員の健康づくりの主な取組内容と、現在の取組状況、今後の展開**

法人内で「健康経営会議」をスタートさせ、健康運動指導士、保健師、作業療法士、管理栄養士といった専門職を中心とした「健康づくりプロジェクト」を実施。職員報で健康・運動に関する情報提供をしたり、様々な会議や研修で運動の動機付けとなるプログラムの情報提供や体験や、腰痛体操教室、トランポリンダイエット体験、ナイトジョギング、健康のためのセミナーなどを提供している。  
今後は、多くのスタッフが運動を始めとする健康づくりの機会を得て、同じ興味を持つ仲間とともに実践していく場を創出していきたいと考えている。



トランポリンダイエット体験



健康セミナー

**CHO構想推進事業所への応募を検討している企業への一言**

健康の維持・向上が労働生産性を上げることに、はじめはなかなか分かりづらいかもしれませんが、取り組みを続けるうちに仲間が増え、輪が広がっていくものと思います。私たちもまだ始めたばかりですが、神奈川の地でともに力を合わせていきましょう。